

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

特選 なつかしき山の坂道姉と行くれんげ花咲く彼岸の参り 東明 貴美

特選 巻きひげで絡み伸びゆくスイトピーのようにずっと君と生きたい 鹿島壽美子

入選 三度目の水を店員注ぎにくる女子会終わる時を計りて 五島 秀子

入選 満開の河津桜のへんろ路背に花びら受けるも淡し 横山みつ枝

入選 一日を大事に生きよう「山と川」尉と姥との合言葉なり 福崎 孝子

入選 のんびりと「ナカちゃんバス」で通院す乳癌の身は医師に委ねて 松島 博子

入選 一息にコーラ飲みつつ少年はまだあどけなく喉反らしたり 喜来富士子

入選 門先ならっぱ水仙せいぞろいコロナ入れぬと黄をかがやかす 久積多美子

入選 春雷の予報に空を見上げつつ里いも植える畑を耕す 川口 節子

俳句

阿南市俳句連合会 選

夏の夕浜で馳走の漁師汁 横手鉄格子

水羊羹妻の手づくりそつと出る 青木 慧

梅雨深し昼を灯して仏彫る 谷中喜代子

初蛸瀬音ほどよき一の堰 喜来富士子

夏の蝶静止画のごと蜜を吸う 中川よし子

蟻の巣に薬たつぷり盛りにつけり 大西 裕子

生涯を夫のいなかで蛸草 井坂 文女

こぶし大なる水蜜桃色づきぬ 吉田 當代

野良猫が西日背負いて威張り顔 藤井李華女

研究心強き空海蓮の花 岡本 隆子

川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

猫の手を借りても足りぬマンパワー 野口 吾朗

学力の不足コロナのせいにする 鈴木レイ子

秘密だろママの電話の声ダウン 原 公美子

ねえあなた何か私に不足でも 多田紀久代

何気ない雑談今日の日の至福 野村 敏子

新型コロナ安倍のマスクじゃ防げない 西田 修身

一般応募

水に映る雲に乗ったかミズスマシ 島尾美津子

神様に頼んであると胡座かく 武田 敏子

薄物をひらりと巻いて夏をゆく 仁井 信子

幸せを更に感じる昨日今日 吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

看螢 田中 公

亂飛未定澗風樹 亂飛未だ定まらず 澗風の樹

假睡又寒今夜衾 假睡又寒からん 今夜の衾

明滅來休襟帶客 明滅來たりて休らう 襟帶の客

掌中暫煖放幽深 掌中暫く煖めて 幽深に放つ

消暑雜詩 荒瀬左知子

雨餘閑歩半天中 雨余の閑歩 半天の中

晚浦柳邊涼一叢 晚浦の柳辺 涼一叢

仰看層雲秋已近 仰ぎ看る層雲 秋已に近く

紅荷白鷺去來風 紅荷白鷺 去來の風

新秋夜坐 池田 行子

雨洗殘炎夜氣清 雨は殘炎を洗って 夜氣清く

西風瑟瑟和蛩鳴 西風瑟瑟 蛩鳴に和す

月華星彩喚吟興 月華星彩 吟興を喚び

獨坐思詩至五更 獨坐 詩を思つて 五更に至る



【コム(コシヒカリ)】本市の平野部では、温暖な気候を生かし、3月下旬ごろから田植えを開始。その特徴を生かし、全国でも有数の早場米産地のコシヒカリとして「阿波美人」のブランド名で販売されています。ふっくらもちもち、甘みがあると評判です。